

令和7年度 県工東京倶楽部 総会議事録

(県工同窓会 東京支部 総会)

- 総会開催日時 令和7年6月1日(日) 11:15~14:00
- 総会開催場所 北京料理 蓬莱閣(東京都台東区上野 2-14-29)
- 総会出席者 25名(本部来賓3名、東京支部会員22名)*総会出席者名簿参照

【総会概要】11:15~12:00

1. 開会のことば(長谷川支部長)

◇令和7年度県工東京倶楽部総会の開会が宣言された。

2. 東京支部長挨拶(長谷川支部長)

◇令和7年度の総会に出席いただきありがとうございます。本部からはお忙しい中、塩澤相談役、服部書記長、加藤事務局長にご臨席いただきありがとうございます。本日の議事においては皆さまのご審議よろしくをお願いします。会員の高齢化が問題ではありますが、これからも東京支部として活動をしていきますので皆様のご支援よろしくお願いします。

3. 同窓会本部来賓挨拶(同窓会本部/加藤事務局長)

◇東京支部総会の開催おめでとうございます。本日は本部から3名出席させていただきました。校長先生にも出席いただきたかったのですが、ウエイトリフティングのインターハイ県予選大会があり、専門委員長及び全国理事の立場でもあり本日は欠席となります。

◇本年度は2年に1度の役員改選があり、臨時役員会を開いて改選(案)を作成しました。今後、理事会と総会を経て新しい役員のもと、令和7年度の同窓会がスタートします。

◇同窓会報ですが、全国の県工同窓生26,000名中、11,000名に毎年3月下旬に郵送して義援金をお願いしています。700名以上の方に多大なる協力を頂いていることは非常にありがたいと思っています。

◇東京支部総会において1年に1回お会いして皆さんと繋がっていると強く実感しています。事務局としても出来ることを精一杯やっていきたいのでこれからもご支援よろしくお願いします。

4. 議長選出

◇渡辺勇吉幹事が議長に選出、承認された。

5. 議事(議事内容は総会資料を参照願います)

◇総会は出席者数により成立する(会則第11条)ことから、総会の成立が宣言された。

(1) 令和6年度活動報告 <長谷川支部長>……………承認

(2) 令和6年度会計報告/監査報告 <牛坂会計/山崎監査役>……………承認

<質疑> 高橋和美様

・本部総会等に出席しているのに“交通費”支出が“0”になっている。

<応答> 長谷川支部長

・本部から交通費の援助をいただいているので、支部の費用は使っていない。

・今年度は相談等で本部への交通費が必要と判断して予算に入れている。

(3) 令和7年度活動計画(案) <長谷川支部長>……………承認

<質疑> 片平和行様

・イベントに参加したいが参加募集はしているのか。メールでの案内も届いていない。

・メールアドレスを連絡していないので、今後は連絡の上でイベントに参加したい。

<応答> 長谷川支部長/阿部副支部長

・イベントの案内はHPへの掲載とメールでの案内を行っている。

・総会の案内はがきへもメールアドレス記載のお願いを行っている。

(4) 令和 7 年度予算(案) <長谷川支部長>…………承認

<質疑> 根本文雄様

- ・支出の部の“前年度予算額”が“会計報告の予算額”と金額が異なるので、同じ金額に修正して欲しい。(備品費/レク親睦会/母校支援費)
- ・修正の際には前年度金額に対して、今年度予算の考えを踏まえて修正して欲しい。

<応答> 長谷川支部長

- ・間違いのため修正します。(予算額合計としては合致している)
- ・“母校支援”については、前年度項目が無かったが今年度新たに追加した。
- ・総会報告時には総会資料を修正して送付する。

(5) 令和 7 年度役員改選(案) <長谷川支部長>…………承認

6. 閉会のことば(長谷川支部長)

◇議長解任、及び総会の閉会について宣言された。

【親睦会】(司会：齊藤幹事) 12:00~14:00

◇親睦会に先立ち、牛坂会計とその仲間の方々でリコーダーの演奏会(全 4 曲)が行われました。

◇塩澤相談役より、新任の校長先生は県工卒業生初の校長であり、東京支部総会へも来てもらいたい気持ちがいっぱい。入試では機械は常に定員オーバーで、電気/建築もそこそこ。進学が多い情報電子は定員割れが多い。これは、市内の私立高校の殆どが男女共学になり、各校とも進学に力を入れているため県工を志望しなくなっているのが実情。とのお話をいただきました。

また、東京方面への卒業生は全体の一割いるので、是非この場に来てもらいたいと思っている。東京に出る子どもたちとの話し合いの場があれば良いと思う。個人情報壁はあるが、同窓会が 3 学年の担任と連携して保護者の協力も得ながら校長の許可をもらって住所を把握して案内を出せば良い。前例を作って引き継いでいかないと県工東京倶楽部の消滅もあり得る。若い人が入らないと東京支部の活性化にはならない、とのご意見をいただきました。

◇白坂敏男様の乾杯の発声により親睦会が始まりました。

◇齋藤幹事の進行により、テーブルごとの代表者から近況報告など、スピーチがありました。

◇最後に全員で恒例の県工校歌を合唱し親睦会をお開きとしました。

以上

令和 7 年 6 月 1 日(日) 書記：高野正勝